



会長 高橋利光  
幹事 山田正  
会報 鈴木彦太 及川勝永  
後藤益美 森田峯男

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2621回例会 2017. 11. 9 No.19

### 本日の出席率

・本日の出席率 82.14%

### ニコニコボックス

- ・高橋利光会長 ロータリー財団フォーラムに期待いたします。佐藤敬喜委員長よろしくお祈りします。
  - ・江川元徳会員 10月31日、県知事から教育功労者として表彰されました。皆さんに感謝します。特に先輩の布施孝之先生、家内にも感謝!
  - ・阿部泰彦会員 関孝新入会員をお迎して。佐藤敬喜委員長のフォーラム楽しみにしております。先日の登米市ハロウィン収穫祭お陰様で盛会に開催できました。ご協力ありがとうございました。
  - ・佐藤敬喜会員 ロータリー財団のフォーラムです。よろしくお祈りします。
  - ・鈴木彦太会員 佐藤敬喜委員長のフォーラム、ご活躍をご祈念を申し上げます。楽しみにしています。
  - ・布施孝之会員 佐藤敬喜委員長のフォーラムに期待。
  - ・村上武彦会員 佐藤敬喜委員長のフォーラムに期待。
  - ・八谷郁夫会員 新入会員関孝さんを歓迎致します。
  - ・菅野幸一郎会員 新入会員関孝さんを歓迎致します。
  - ・佐藤静一会員 新入会員関孝様を歓迎致します。
  - ・遠藤光則会員 関孝会員を歓迎します。佐藤敬喜委員長のフォーラムを期待します。
  - ・菅原慶一会員 ロータリー財団委員会のフォーラムに期待します。
  - ・千葉正宏会員 関孝さん入会おめでとうございます。
  - ・伊藤幸子会員 「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」に出席しました。本日のフォーラムに期待。
  - ・山田直志会員以下 財団のフォーラムに期待して。  
佐竹孝行会員 熊谷敏明会員 佐々木源悦会員  
布施孝尚会員 富士原裕子会員 武川毅会員  
及川昭宏会員 佐藤哲弥会員
- 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 高橋利光会長

11月3日(金)の文化の日に行われた「平成29年度市政功労者表彰式」に、佐沼ロータリークラブ代表として出席して参りました。今年度の表彰者は107人で、部門ごとに登米市に多大な貢献をされた方々が受賞されました。

11月7日(火)には「平成29年度市民参加の新たな森林づくり植樹祭」が東和町米川で行われ、今年度は佐沼ロータリークラブから5名で参加してまいりました。植樹の場所が変更になり、今回はかなり傾斜が強い急斜面での作業になりました。晴天に恵まれた青空の下での作業で、快い汗をかいたあと、おいしいきのこ汁とおにぎりをいただきました。

森林は、二酸化炭素を吸収して、地球温暖化を防止し地球環境を保全する重要な役割があるだけでなく、土壌保全、土砂災害防止、水源かん養、保健レクリエーション機能など、たくさんの役割があります。多様で健全な森林は、私たち人間や地球環境に大変重要です。

宮城県と登米市が共同で行っているこの植樹祭では、毎年600本以上の植樹や、米川小学校低学年によるドングリの種蒔が行われています。

山田直志環境保全委員長はじめ、参加されたロータリアンの方々には、心から感謝申し上げます。

### 幹事報告 菅原慶一副会長

- ・ガバナー事務所より  
田中堯史ガバナーエレクト  
国際協議会ご出席壮行会の案内が届く  
日時 12月10日(日) 受付16:30~  
①16-17年度地区資金収支決算報告  
ならびに監査報告 17:00~  
②ガバナーエレクト壮行会 17:30~  
場所 メトロポリタン盛岡本館 4F  
登録料 10,000円
- ・川崎大師RCより、会報が届く。

### 各委員会報告

#### ・環境保全委員会 (山田直志委員長)

市民参加型による森林づくり植樹祭に5名で参加してまいりました。サンシ山で植樹をし、時間がありましたので頂上まで登って見ました。そこからは登米市の平野が全て見渡せました。又、南三陸町はじめ本吉町、海の方まで見え、こんなに素晴らしい所が登米市にあったのだと感じて来ました。

#### ・青少年奉仕委員会 (千葉正宏委員長)

11月18日(土)、少年少女野球大会を開催いたします。多くのご参加をお待ちしております。FAXにてご案内の通り7時30分開会式です。朝早いのですが少年少女の頑張りを見ていただければと思います。前日の準備にもご協力をお願い致します。

#### ◎バッチ授与 (関孝新入会員へ)

#### ・関孝新入会員のあいさつ

迫町北方で生まれ育った関孝と申します。1969年、昭和44年生まれで48歳になっております。高校を卒業してから地元の印刷会社、佐沼印刷の秀社長の下で働かせていただき、その後農業を営んでおります。

本日、歴史ある佐沼ロータリークラブの会員とならせていただきました。大変ありがたく思うと同時に身の引き締まる思いであります。これからの活動を通して皆様のような人格者に少しでも近づけるよう、精進してまいりたいと考えております。皆様のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



関孝新入会員へバッチ授与

### フォーラム

#### ・ロータリー財団委員会 (佐藤敬喜委員長)

ロータリー財団が出来たのは、1917年アーチ・クラウンPR I会長が、世界でよいことをするために基金の設立を提案されました。この基金が1928年ロータリー財団と名付けられ、国際ロータリーの新しい組織となり、現在のロータリー財団となっております。今年は100周年に当たり、色々なイベントが行われております。

ロータリー財団の基本は、寄付金を基にした地域及び国際的な生活支援・教育支援等に我々ロータリー会員が寄付や人的協力と言うことでロータリー財団を通して、ロータリーの啓蒙活動をメインに据えているというのが現状であります。

ロータリー財団は、急速に発展し、現在は会員の皆様に理解していただいている状態になっております。基本的に、寄付は財団の作ったプログラムに沿って行われております。

1947年から始まった高等教育のためのフェローシップが一つの変換になっており、その後1965年~66年度に研究グループ交換(G.S.E)、年1回職業人10名前後を交換して勉強してもらうプログラムが実施されて

おります。1985年ポリオ撲滅ということで、ポリオプラスプログラムが行われております。その後2013年に大きな変革がありました。今まで一般的なプログラムで行われていたのが、大幅に改革され、地域補助、グローバル補助、パッケージ・グラントを導入することになりました。

このような変換があり、現在ロータリー財団を中心として、地域補助金の活用をした各クラブの奉仕活動がなされております。

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーが、ネットワークを通じて人々に奉仕し、高潔を奨励し、世界理解、親善、平和を推進することにあります。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を推進することにあります。

寄付には、年次基金寄付と恒久基金寄付と使途指定寄付があります。

年次基金は1,000ドル寄付するとポールハリスフェローになります。世界中の地域社会で平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の予防の6つのテーマを掲げて、それに沿った支援活動の基金となっております。100ドルの寄付で、ケニアの2人の子供の1年分の学費に当てられるそうです。又100ドルの寄付で、タンザニアの母子をマラリアから予防するためのカヤを提供出来ます。500ドルの寄付で、南アフリカの小学生150人のための図書館が作られるそうです。他色々な活動が行われております。毎年100ドル以上の寄付をお願いするところでもあります。

恒久基金は、財団のプログラムを支える基金で、寄付してもらったお金を投資し、その利益を年次基金に廻しています。使途指定寄付は、ポリオプラス他名称のついた活動を行うための寄付です。

— スライドで詳しい説明がありました。紙面の都合上、割愛させていただきました。 —

### 「平成29年度市民参加の新たな森林づくり植樹祭」開催される

去る11月7日(火)にクラブから参加されたのは高橋利光会長、山田直志環境保全委員長、山田正幹事、阿部泰彦会員、伊藤幸子会員でした。地球環境保護に大いに貢献して来ました。

